

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人稲泉会

慶泉荘デイサービスセンター

I. 総括

令和6年度も地域包括ケアの一役を担う事業として、関係する各機関との連携を図り、ご利用者様が可能な限り在宅において日常生活を継続できるよう心身機能の維持向上並びにご家族様の身体的及び精神的負担の軽減に努めて参りました。

重点項目に掲げた取組では、1の人権の尊重については、利用者主体のケアとサービスの提供に努め、メリハリのある活動や個別対応の実施に努め利用者様からもご希望の声が聞かれるようになり、ご希望の実現に向け取り組みました。また、利用して頂くことで家族の負担の軽減に努めました。2の笑顔に勝る介護なしでは、職員間の協力やコミュニケーションを図りながら取り組み、研修の機会を設けながらスキルの向上に努めました。3の感染対策・防災対策の徹底では、感染対策を実施し事業を休止することはありませんでした。4の目標稼働率では、新規ご利用者様も増えましたが、今年度は亡くなる方や入所となる方も多く、また曜日によって稼働に大きなばらつきが見られ、目標に掲げた稼働率80%には達することができませんでした。経費の削減では、経費の削減に努め削減目標は達成しています。

II. 重点項目

1. 「人権の尊重」
 - ・一人ひとりのケアに根拠をもって進め「利用者主体」に取り組む
 - ・家族への支援
2. 「笑顔に勝る介護なし」
 - ・笑顔は人を幸せにする表現であることを認識し、利他的志向を育む風土を作る
 - ・自己のスキルや知識の向上に努める
3. 感染対策・防災対策の徹底
 - ・感染予防の推進
 - ・防災対策の推進、訓練の実施
4. 目標稼働数 利用率80% 経費削減 2%

Ⅲ. 重点項目の成果

職 種 生活相談係

重点目標

1. ケアプランに基づいた適正な通所介護計画を作成し、利用者及び家族の意向と状況把握に努め、在宅での生活が継続できるよう努める。
2. 稼働率目標達成に向けての在宅支援事業所との連携強化。
3. 利用者の満足度の向上。

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|------------|---|
| 1 | 相談業務の向上を図る | 送迎時のお声掛けや連絡帳を活用しながら、ご利用者様、ご家族様の各種相談に応じ、担当ケアマネージャーと連携し、ご利用者様の在宅生活を支え、ご家族様負担軽減に繋がるよう援助した。 |
| 2 | 通所介護計画の充実 | ご利用者様の身体的、精神的な状況をふまえ、またご本人様、ご家族様の希望に添えるよう、有する能力に応じた自立支援が行えるよう援助を行った。 |
| 3 | 家族との連携 | ご自宅での様子聞き取りを行い、またご利用中のご様子を共有し、ご家族様の状況等に合わせ、負担軽減に向けた声掛け援助を行った。 |
| 4 | 個人情報保護 | ご利用者様の記録、個人情報等が部外に漏れないよう情報の管理を徹底した。研修会を行い職員の意識統一を図った。 |

職 種 介 護 係

重点目標

- 1.利用者個々のニーズに合わせ、適切な判断のもと安心、安全に過ごし、満足して頂ける援助に努める。

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|----------|--|
| 1 | 利用者主体の援助 | 季節を感じて頂けるようなイベント・行事を計画し実施することができた。地域交流も含め、今年度は |

| | | |
|---|---------------|---|
| | | ご利用者からの提案を叶えることもできた。 |
| 2 | 職員の資質の向上 | 職員会議の際、月1回研修を行っている。 |
| 3 | 感染対策の徹底 | お迎え時の体調確認、検温を行っている。手指消毒を徹底し安全な利用に努めた。またセンター内定期的な換気、消毒を徹底した。 |
| 4 | 稼働率1日24名の取り組み | 契約数は前年度上回るも終了の方も多く、達成できず。 |

職 種 看護・機能訓練指導係

重点目標

利用者が利用時に、安心して楽しく過ごすことが出来るように支援する。

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|-------------|--|
| 1 | 健康管理の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用時には、バイタルサインチェックや処置の実施・毎月の体重測定を実施し、変化時は家族へ連絡し、必要時受診をして頂いた。 ・利用中の状態変化時は、担当ケアマネージャーやホームのショート利用の際に医務へ情報提供し連携を図った。 ・今年度より半年毎に利用者のお薬情報を頂き内服薬について確認している。このことにより利用者の体調について容易に把握できるようになった。 |
| 2 | 感染予防の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月職員向けに感染症や食中毒の予防、蔓延防止について勉強会を実施した。また、標準予防策について機会あるごとに説明した。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザに感染または濃厚接触者を疑われる利用者が居られた。感染時のフローを参考に対策を実施し利用者間で感染はなかった。感染により営業を休むことはなかった。 |
| 3 | 利用者の身体機能の維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事前の嚥下体操、転倒予防体操を実施した。利用中誤嚥はなかったが、転倒する方があり、職員間で転倒防止策をその都度検討した。 ・令和6年8月に利用者向けに転倒予防と脱水症・熱中症予防の勉強会を実施した。利用者だけでなくご家族にも意識していただくよう資料をご家族へ配布した。 |
| 4 | 事故防止 | 利用中の転倒はあったが受傷まで至っていない。また誤嚥する利用者もいなかった。 |